

平成20年度 千歳市立駒里小中学校学校関係者評価書及び報告書

校長名	工 藤 英 二
作成日	平成21年3月20日

1. 学校の教育目標

やさしい子 (広い心を持ち 人と自然を愛する子ども)	進んで学ぶ子 (自ら進んで学びとる子ども)	元気な子 (健康な心と身体を持った 元気な子ども)
-------------------------------	--------------------------	------------------------------

2. 学校の経営の基本方針

(1) 「学校課題」の解決を図る教育課程の実施・評価・改善に努める。 (2) 児童生徒の側に立った教育の推進に努める。 (3) 児童生徒・保護者・地域に信頼される学校づくりに努める。 (4) 教職員相互の意思の疎通を図り、学校教育目標実現に向けた協働による学校づくりに努める。

3. 本年度の重点

(1) 子ども一人一人のよさや可能性を引きだし、自己を高める力を育む教育 (2) 地域とともに、子どもたちが郷土や学校を愛し、誇りとする教育を進める

4. 自己評価・学校関係者評価の結果と改善の方針・方策

	平成20年度経営の重点に関わる評価項目	自己評価			学校関係者評価の結果		
		達成状況		評 価	評価に基づく改善の方針・方策	評価の適切さ	評価・改善の方針・方策に対する意見等
P	T						
1 学校経営	学校は、保護者の願いや期待に応えた教育活動を行っているか。	B	B	B	・アンケートによる保護者の願いや期待の把握 ・学校の方針を年度当初に伝え話し合う時間の設定		

2 学校経営	学校は家庭や地域に向けて様々な情報を提供しているか。(学校便り・学級便り・不審者情報メール配信等)	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便り、学級通信、ブログ等による情報発信の内容・発信方法の検討 ・ブログ担当者の増員(小中各1、教頭等) 		<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新を ・ブログの復旧を急いで ・不審者情報メールの活用について検討を
3 教育課程	行事の内容や時期・回数などは適切だったか。(運動会・学校祭・参観日・懇談会等)	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・行事日程の見直し、外部の行事(中体連等)との日程調整 		
4 学習指導	学校は確かな学力をつけるため、基礎・基本をしっかり身につけ、自ら学ぶ力を育てる授業に取り組んでいるか。(日常の学習・放課後学習・習熟タイム)	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟タイム、強化学習、個別指導の充実 ・教師の指導力の向上 		
5 道徳教育	あいさつや後始末などの基本的な生活習慣が身についたか。(学校生活での生活習慣・家庭での生活習慣)	B	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と学校との連携 ・指導の充実 		

6 生徒 指導	学校は、子どものことをよく理解しているか。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとの交流の充実 ・アンケート等による子どもの願いの把握 		
7 健康 ・安全	学校の施設・環境は適切に整備されているか。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の清掃の充実 ・行事など節目における大掃除等 		・廊下の図書の置場所の工夫を
8 健康 ・安全	学校は子ども達の安全に留意した活動を行っているか。	A	A	A			
9 P T A 活動	P T A 活動の内容は適切か。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容・方法の見直しと検討 		

10 P T A 活 動	P T A 活動に積極的に参加した。	B	B	B	・活動内容・方法の見直しと検討		
--------------------	--------------------	---	---	---	-----------------	--	--

【達成状況・評価】 A：十分達成している B：達成している C：少し不十分である D：不十分である

【評価の適切さ】 : 適切 : やや不十分 x：不十分

【小学校のみ回答項目】

11 学 習 指 導	教科学習において、個に応じた方法で基礎・基本を身につけさせているか。	A	B	B	・個別指導の重視 ・より一人ひとりに応じた指導		
12 総 合 的 な 学 習	総合的な学習の時間において、子どもたちの興味・関心、課題を引き出すような活動を行っているか。	A	A	A	・駒里探検隊・農園活動等の充実 ・繰り返しによる英語活動能力の定着		

13 生徒指導	学級づくりにおいては、子どもが毎日楽しいと感じるような学級をつくっているか。	A	B	A	・児童一人ひとりの正しい理解		
------------	--	---	---	---	----------------	--	--

【中学校のみ回答項目】

11 ふさと教育	総合的な学習の時間などを活用し、地域のことなどについての学習を深めているか。	A	B	B	・新学習指導要領への移行を吟味した工夫		
-------------	--	---	---	---	---------------------	--	--

12 キャリア教育	学校内・外での学習活動を通して、体験を重視した活動を行っているか。	A	A	A			
13 特別活動	委員会活動等を通し、学校内外の様々な事柄に興味・関心を持ち、より良くしていくための方策を考え実践しているか。	A	B	B	・生徒の興味・関心をより把握するとともに、生徒の成長に必要な指導事項の充実		

【達成状況・評価】 A：十分達成している B：達成している C：少し不十分である D：不十分である
【評価の適切さ】 : 適切 : やや不十分 x：不十分

委員からのその他の意見等

- ・全体として学校自身は厳しい評価をしていると感じるが、今後も現在進めている学校経営を進めていってほしい。
- ・安全への取組みの視点が大切では。例えば携帯のマナーの指導（使い方も含め）等。学校事情としては安全を考えると必要。
- ・健康指導という項目がこの評価つまり来年度の重点の中に必要では。
- ・少人数だからできる教育もあるが、少人数がゆえにできない教育もやはりあると思われる。（団体スポーツ等）その点の充実を今後考える必要を感じる。

今後の方向性についての校長の所見

- ・評価項目については学校関係者評価委員によりわかりやすく項目を改善する必要がある。
- ・食育等の評価内容の追加も考える必要がある。
- ・委員の意見にもあるように、少人数という環境の中で弱い面をどのように改善していくかの方向性を出す必要がある。